

お知らせ: 次回発信日は4月18日週報(予定)

Jミルクが2024年1月26日に公表した「需給見通し(※2023年11月迄実績)」の予測値と実績(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

・2月の生乳需給実績について、飲用等向(日均量)はこれまでの傾向と同様に前年を下回り前年同期比▲1.6%となった。一方、生乳供給量(日均量)は2022年7月以来、約1年半ぶりに前年を上回り+0.5%となった。このため、乳製品向(日均量)は+3.0%と2カ月連続で前年を上回った。指定団体受託乳量(速報)では、3月中旬(最新)は全国で前年同期比+9ト(日均量)と2月中旬以降の前年比プラスを維持した。北海道(ホクレン)は、3月下旬(最新)に+1.8%(日均量)と2月から上昇率を拡大。一方、都府県は3月中旬(最新)が▲1.3%(日均量)と前年割れが続いており、北海道との差が拡大している。

・脱脂粉乳の需給をめぐっては、生乳供給量の回復に伴い2月の生産量が前年同月比でプラスになったものの、1月からは減少した。一方、出回り量は1月から増加。このため、在庫量は1月から600ト程度減少した。バターも1月と比較して生産量は減少、出回り量は増加したが、国家貿易による輸入売渡分を考慮すると在庫量は1月から500ト程度増加した。インテージによると、12月の取引乳価引き上げに伴うバターなどの製品価格改定は2月中旬ごろをピークに落ち着いたものの、販売個数は伸び悩み、前年比においてはプラスの週とマイナスの週が混在している。

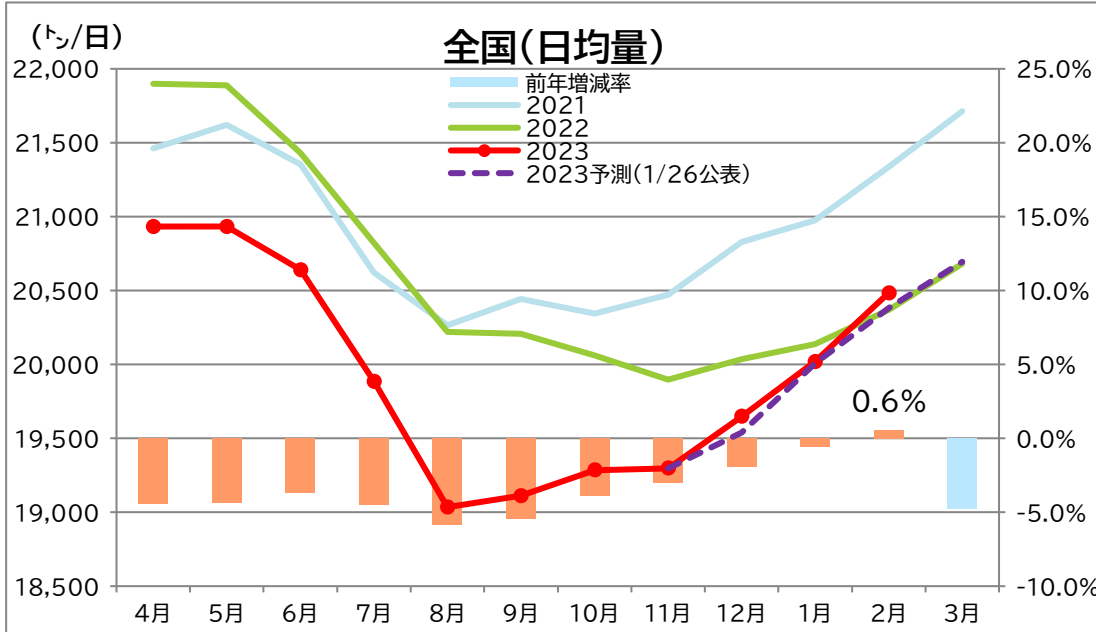
・牛乳類の販売動向に目を向けると、3月は2月に比べて平年より悪天候や気温の低い日が多い影響などで消費が低迷したものと推察。インテージによると、牛乳類の販売個数は4品目すべてのカテゴリーで前年を下回った。春休みの学乳休止期に前年より加工処理が多く発生する懸念があったものの、処理不可能乳の発生を防ぐため酪農乳業関係者が懸命に配乳調整に取り組んだ結果、4月12日時点で大きな混乱は生じておらず、学乳供給の再開に伴い加工向け処理量はピークアウトしている。

【生乳生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

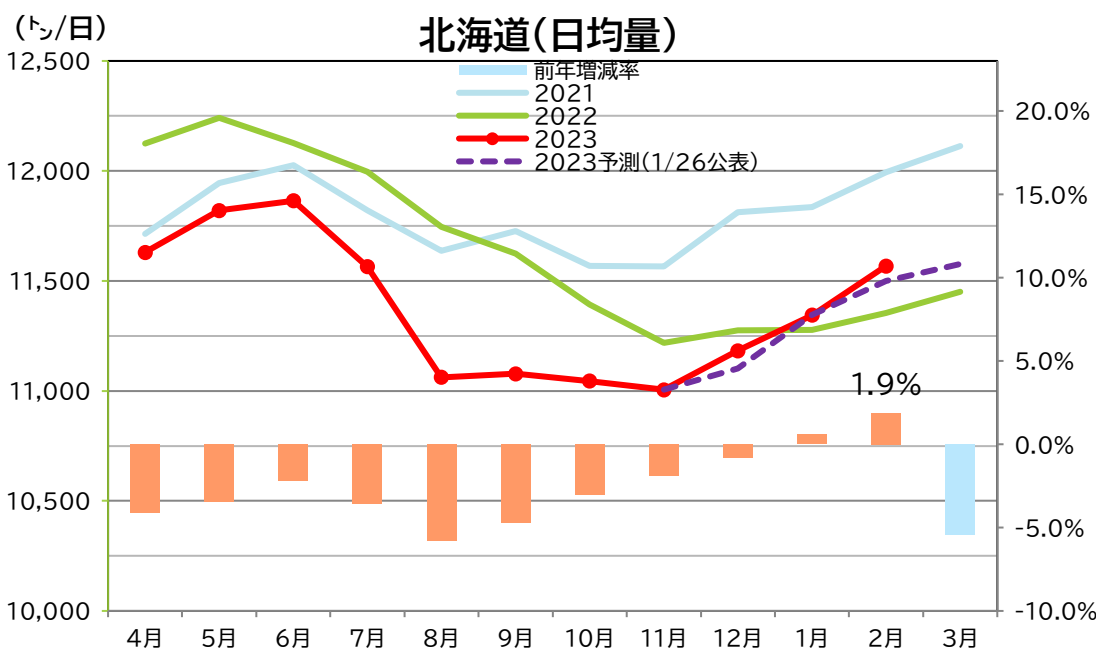
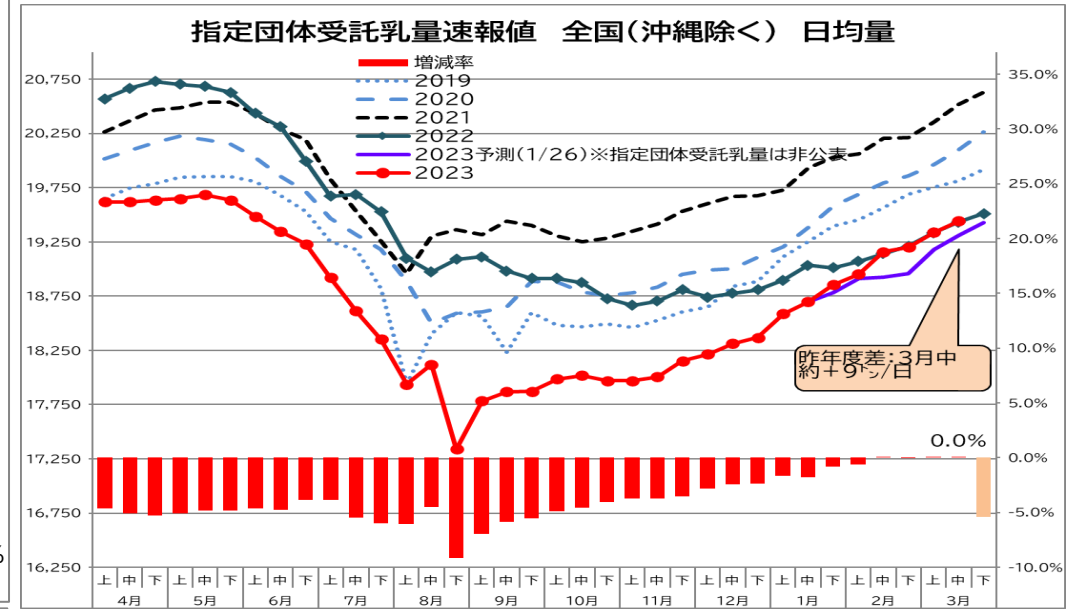
(1)2月の生乳生産量は、全国594.1千ト(前年同月比100.6%)、北海道335.5千ト(同101.9%)、258.6千ト(同98.9%)。

(2)Jミルク予測値(全国591.1千ト、北海道333.5千ト、都府県257.6千ト)との比較は北海道・都府県ともにほぼ同水準となった。

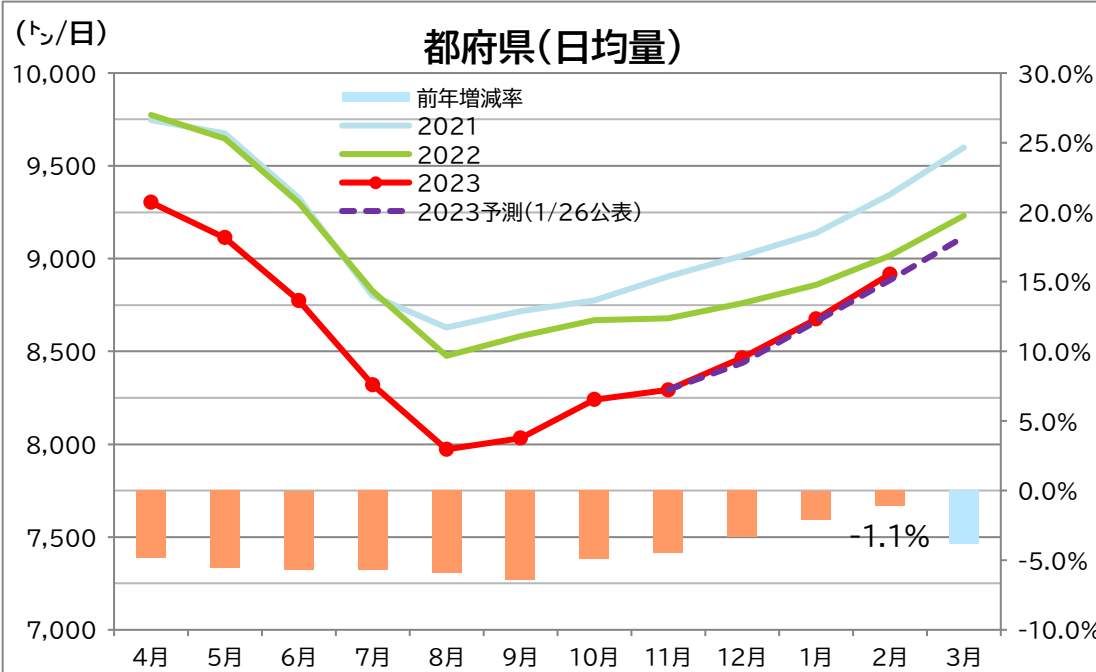
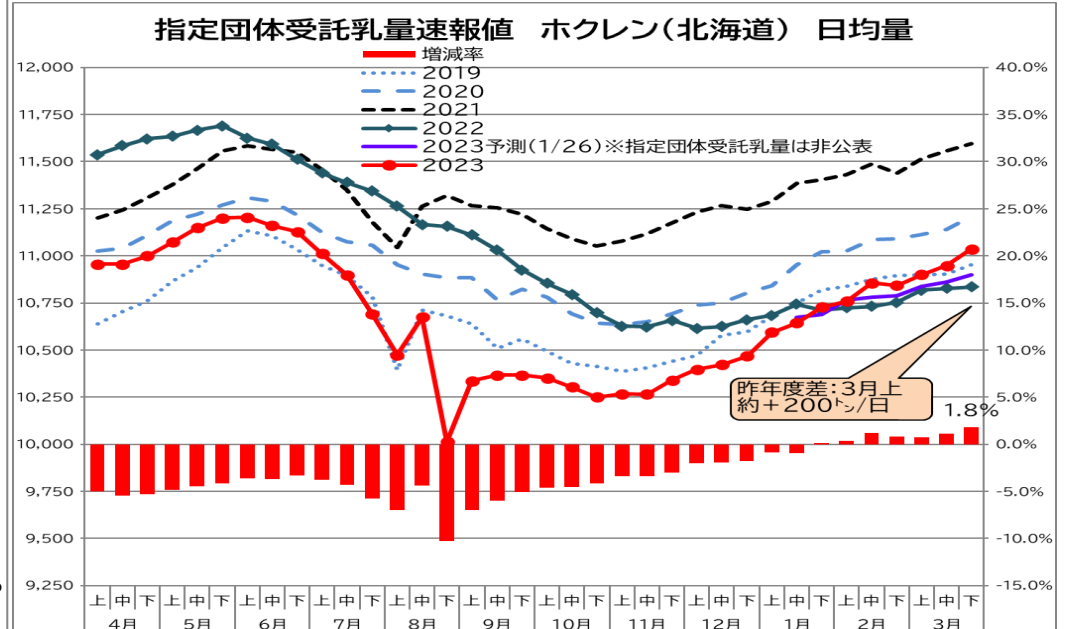
(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が、3月中旬で同100.0%、都府県(沖縄除く)が同98.7%、北海道は3月下旬で同101.8%となった。



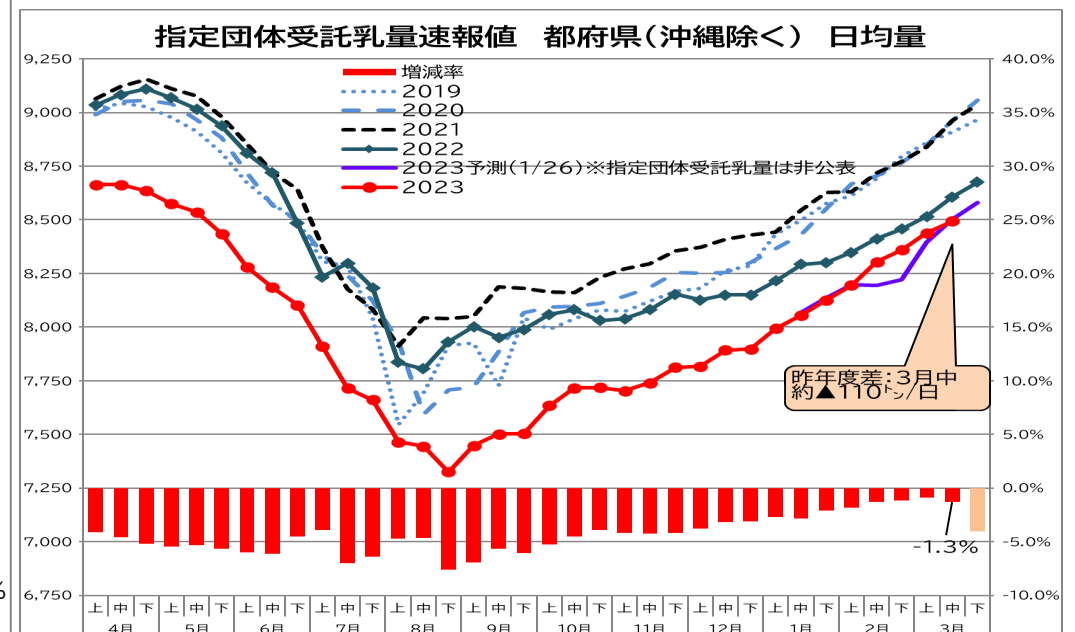
指定団体受託乳量速報値 全国(沖縄除く) ※3月中旬



指定団体受託乳量速報値 ホクレン ※3月下旬



指定団体受託乳量速報値 都府県(沖縄除く) ※3月中旬

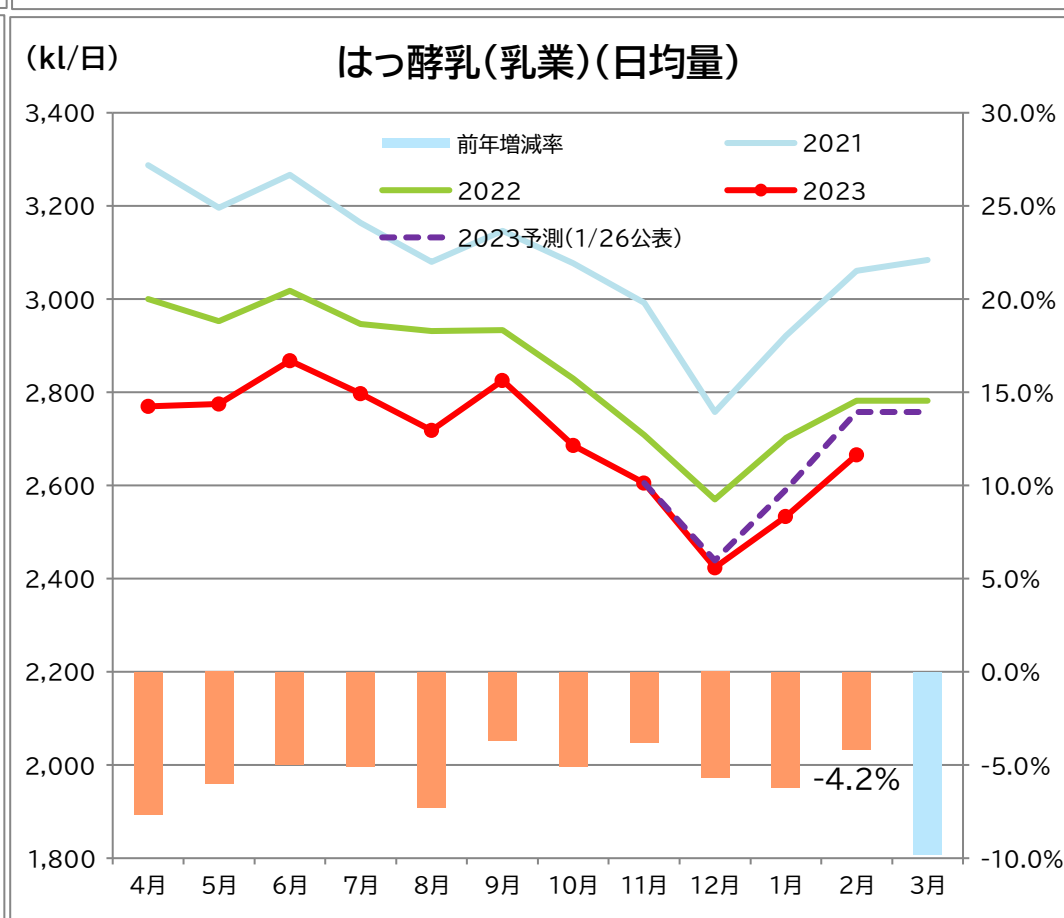
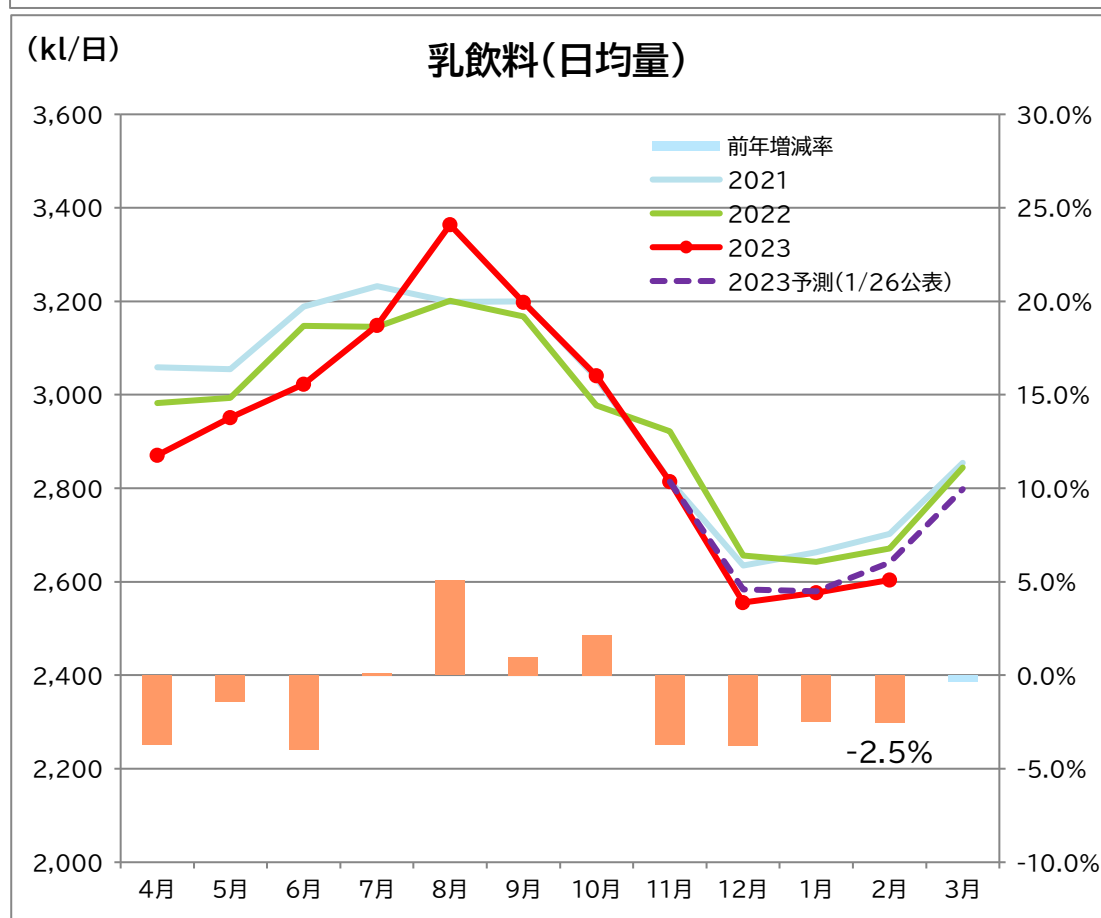
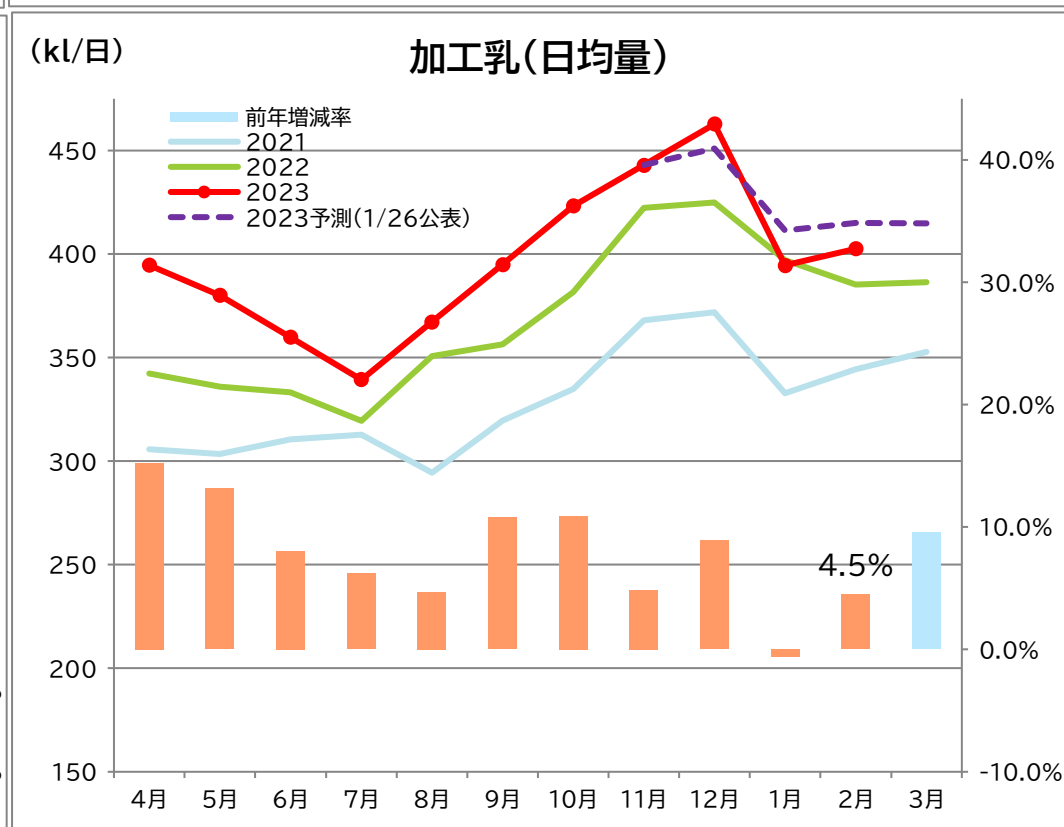
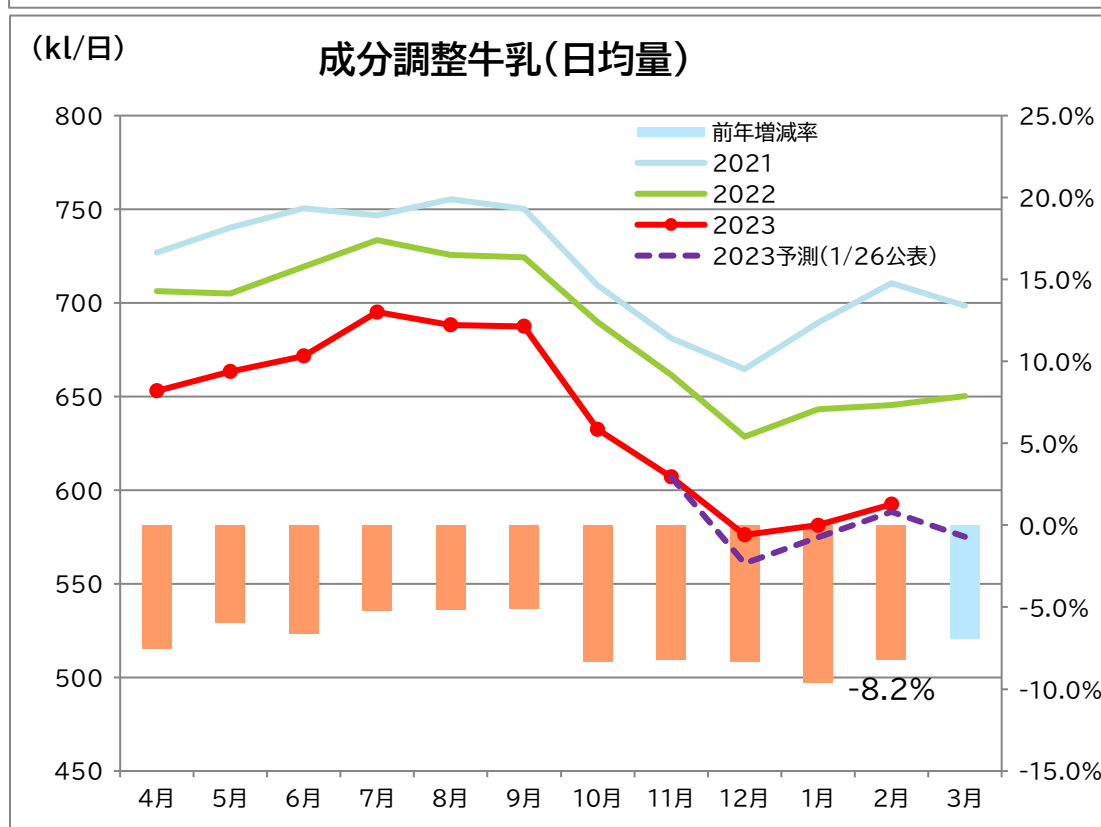
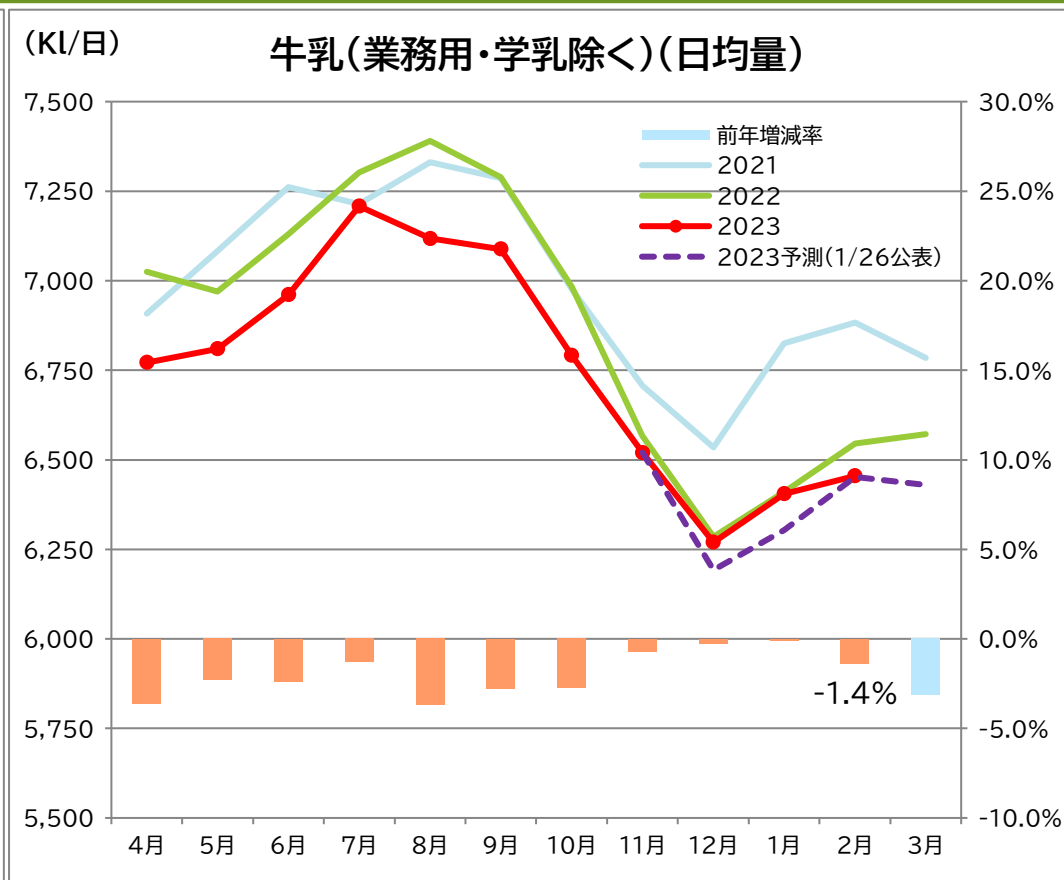
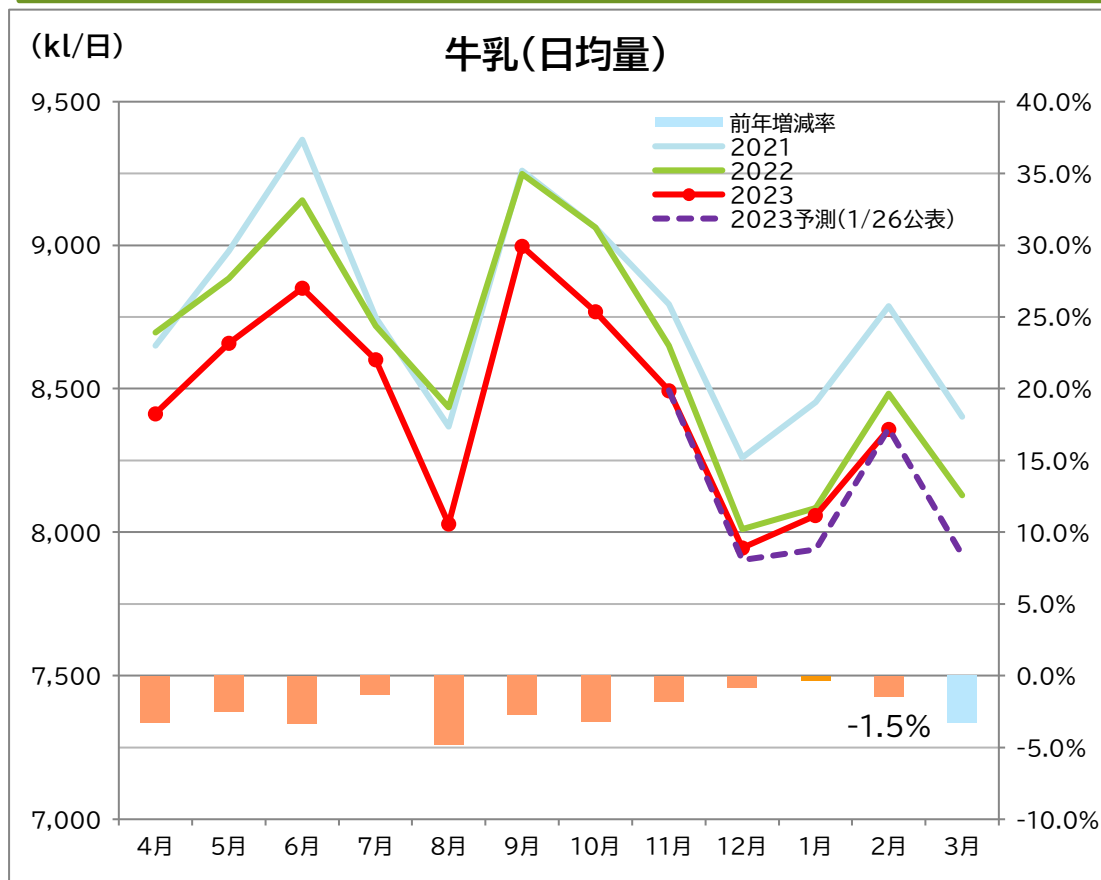


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の牛乳等生産量は、牛乳242.4千kl(前年同月比98.5%)、成分調整牛乳17.2千kl(同91.8%)、加工乳11.7千kl(同104.5%)、乳飲料75.5千kl(同97.5%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、346.8千kl(同98.1%)となり、15カ月連続で前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同98.6%、「業務用」は同105.8%、「学乳」は93.8%。

(3)はっ酵乳(乳業)は77.3千kl(同95.8%)と前年を下回って推移している。はっ酵乳(非乳業:1月実績)は106.5%となった。

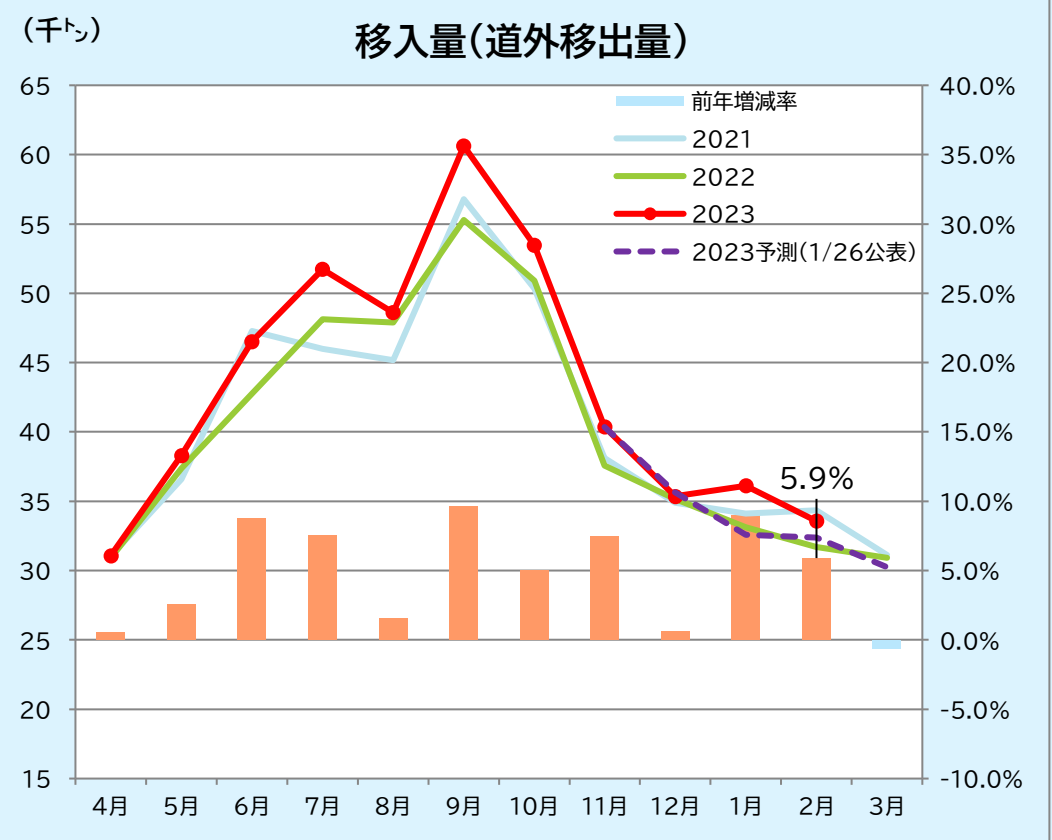
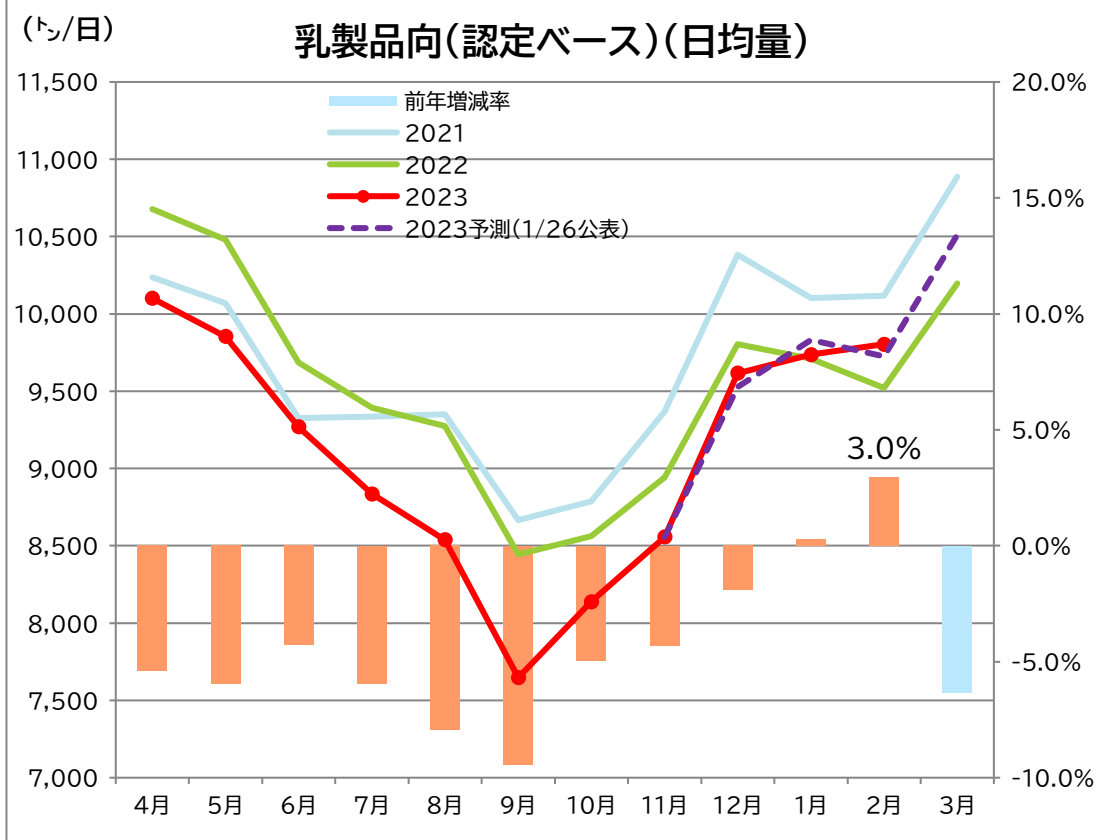
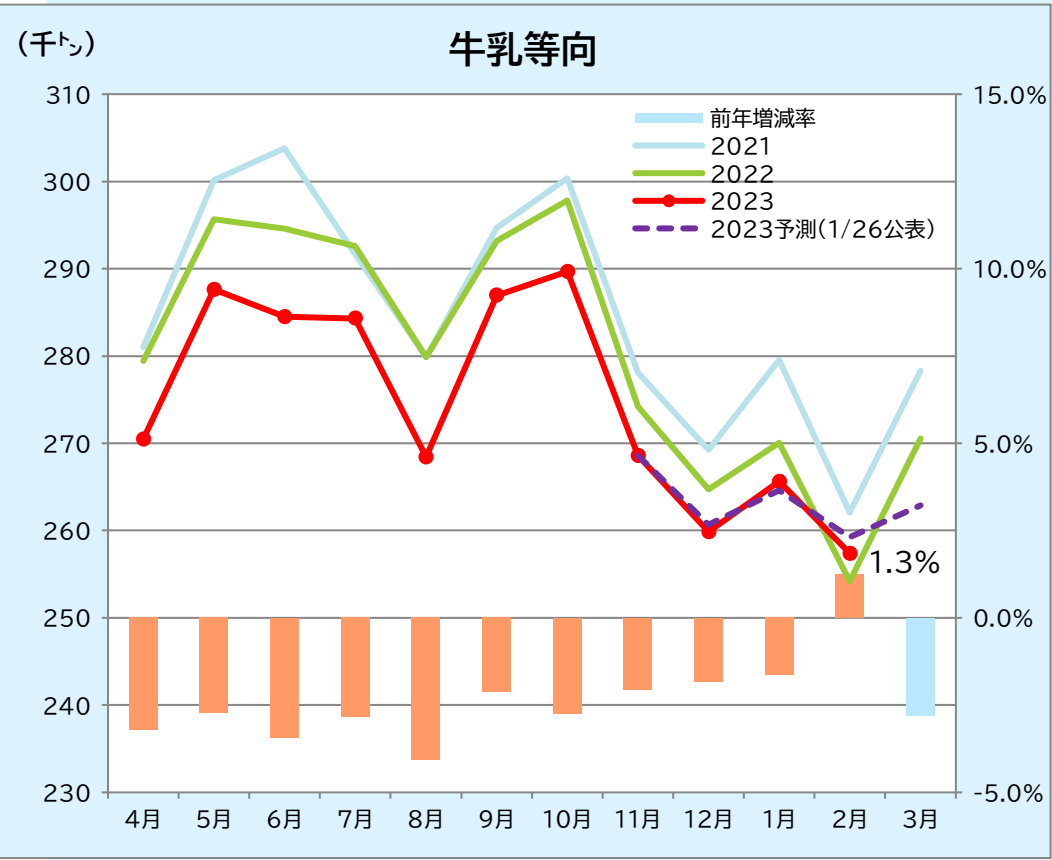
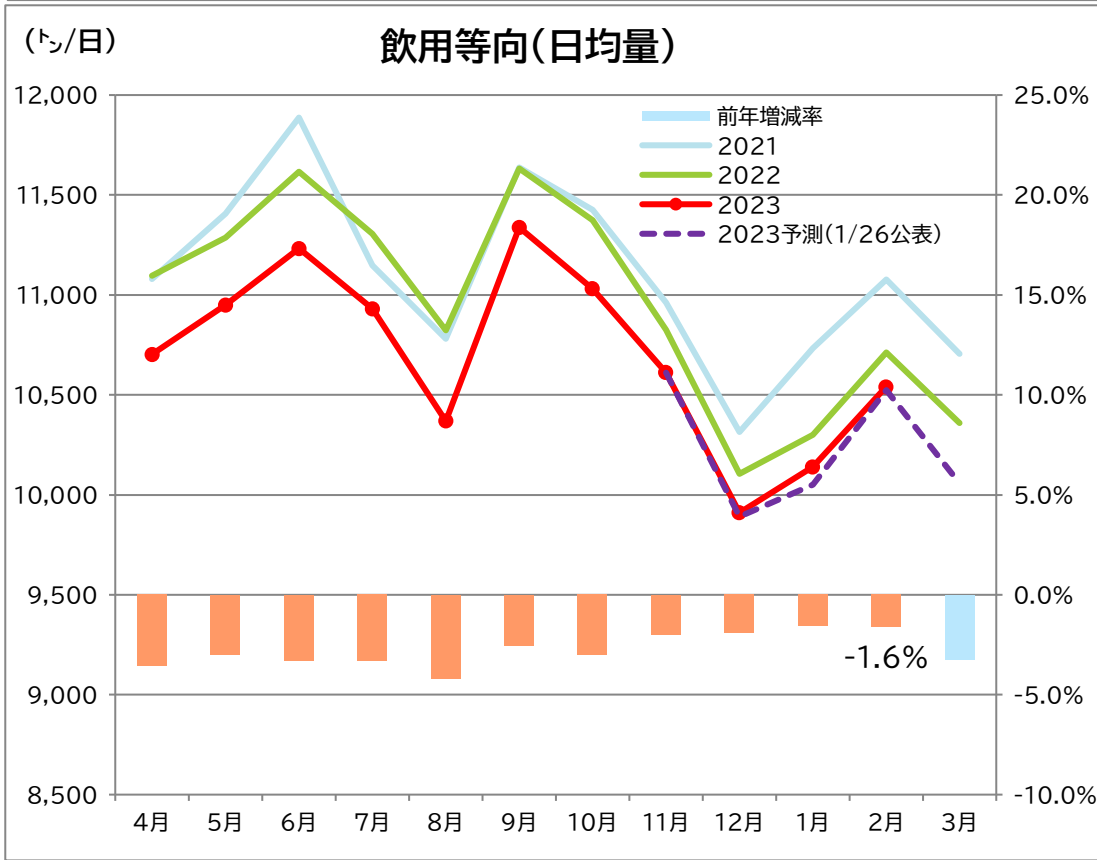
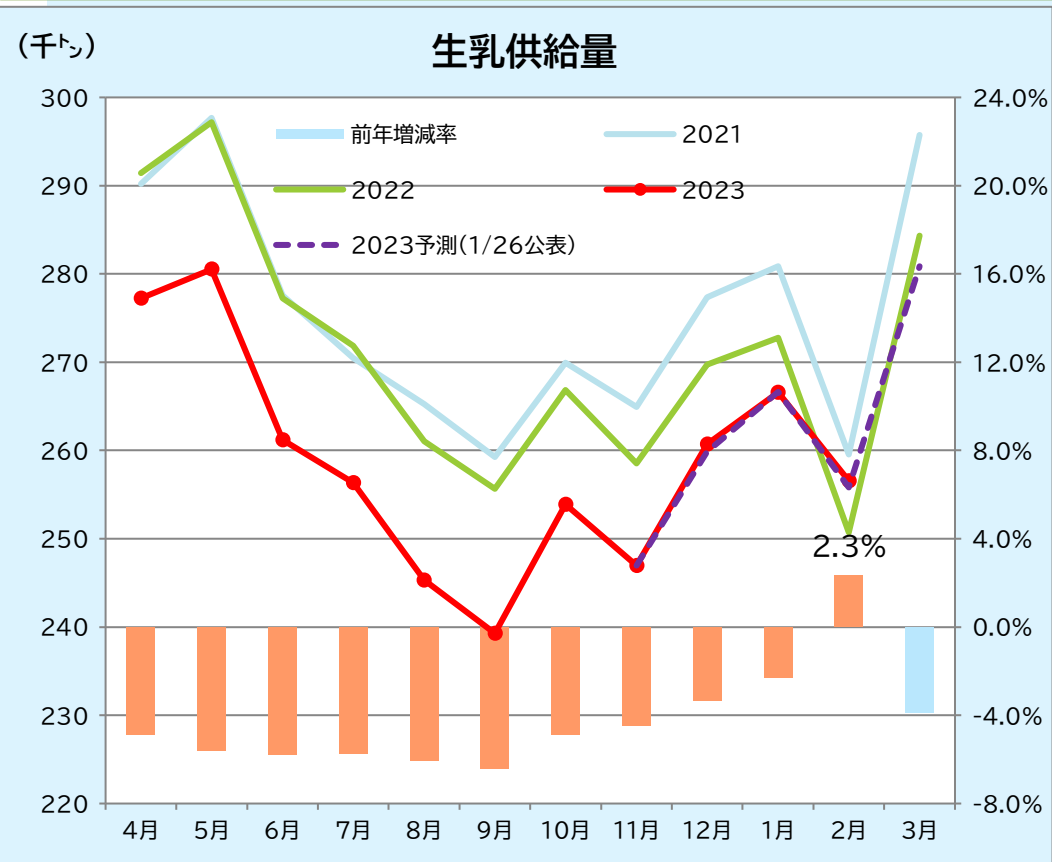
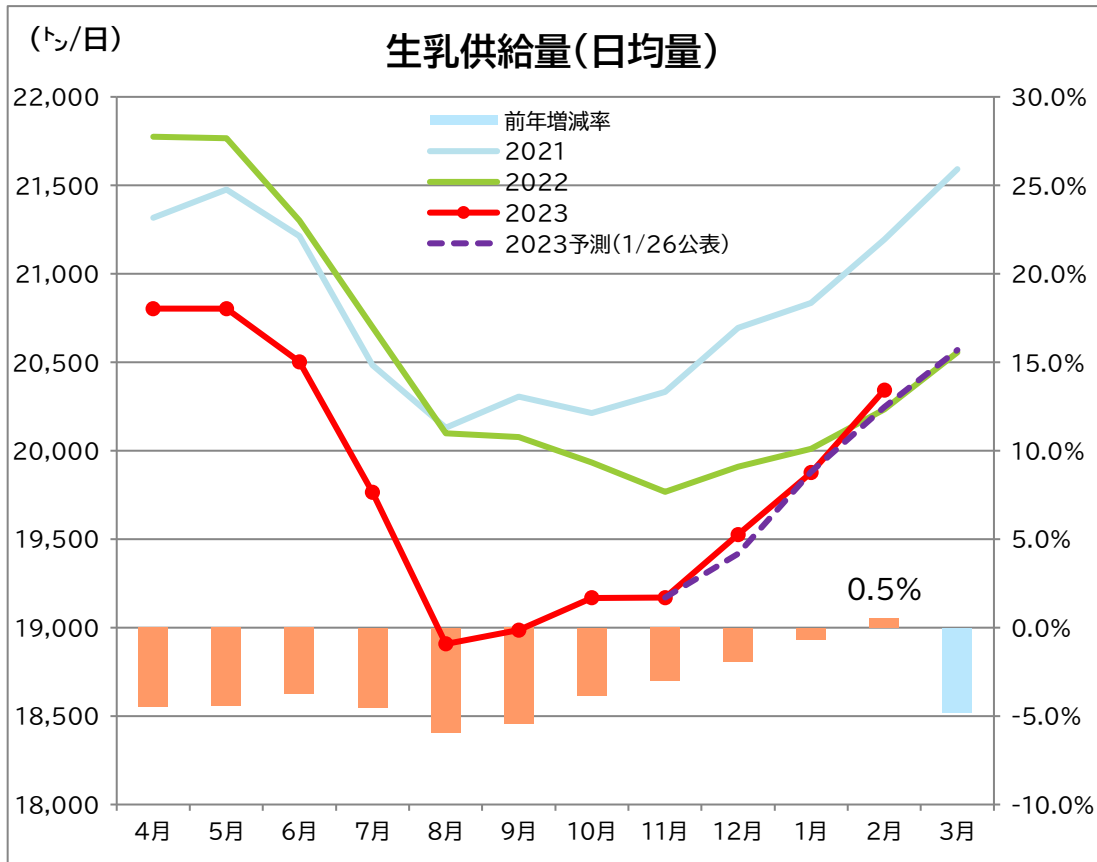


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)2月の生乳供給量は589.9千㍓(前年同月比100.5%)、飲用等向305.6千㍓(同98.4%)、乳製品向(認定ベース)284.3千㍓(同103.0%)。
 (2)飲用等向は前年を下回った一方、生乳供給量は前年を上回り、乳製品向も前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:587.1千㍓)、飲用等向(予測値:305.2千㍓)はいずれもほぼ同水準となり、結果乳製品向(予測値:282.0千㍓)も同水準となった。

【都府県の生乳需給】

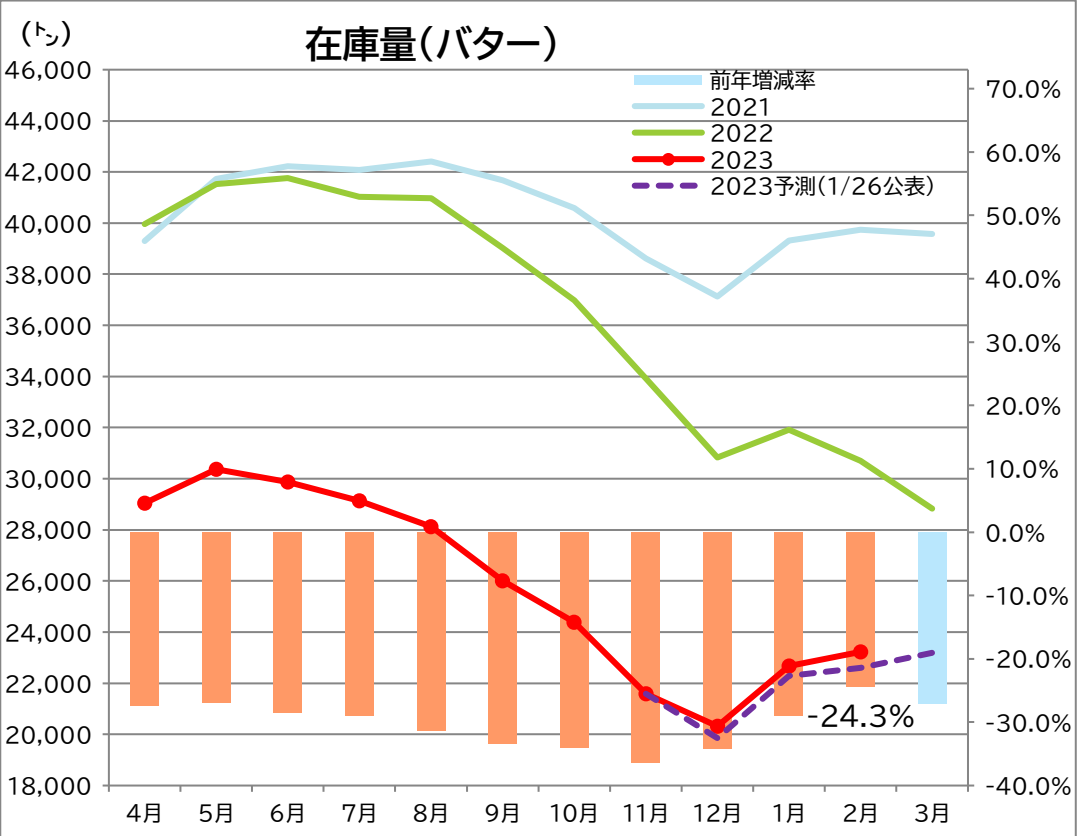
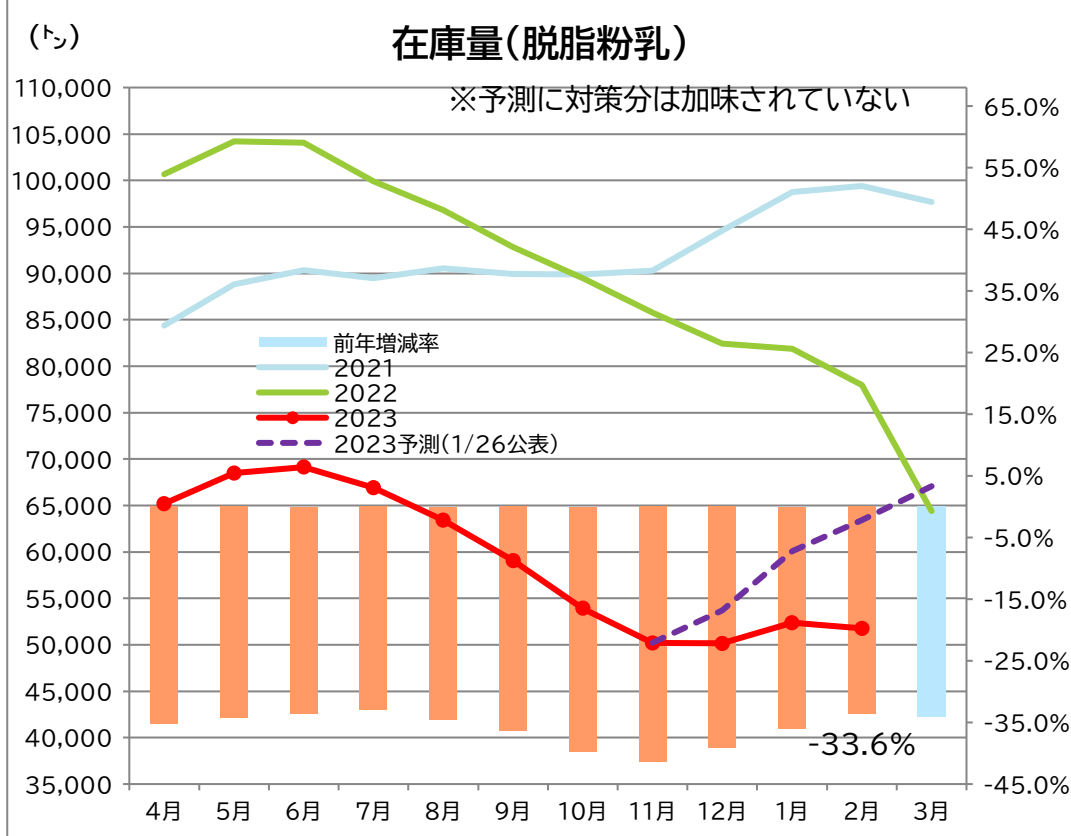
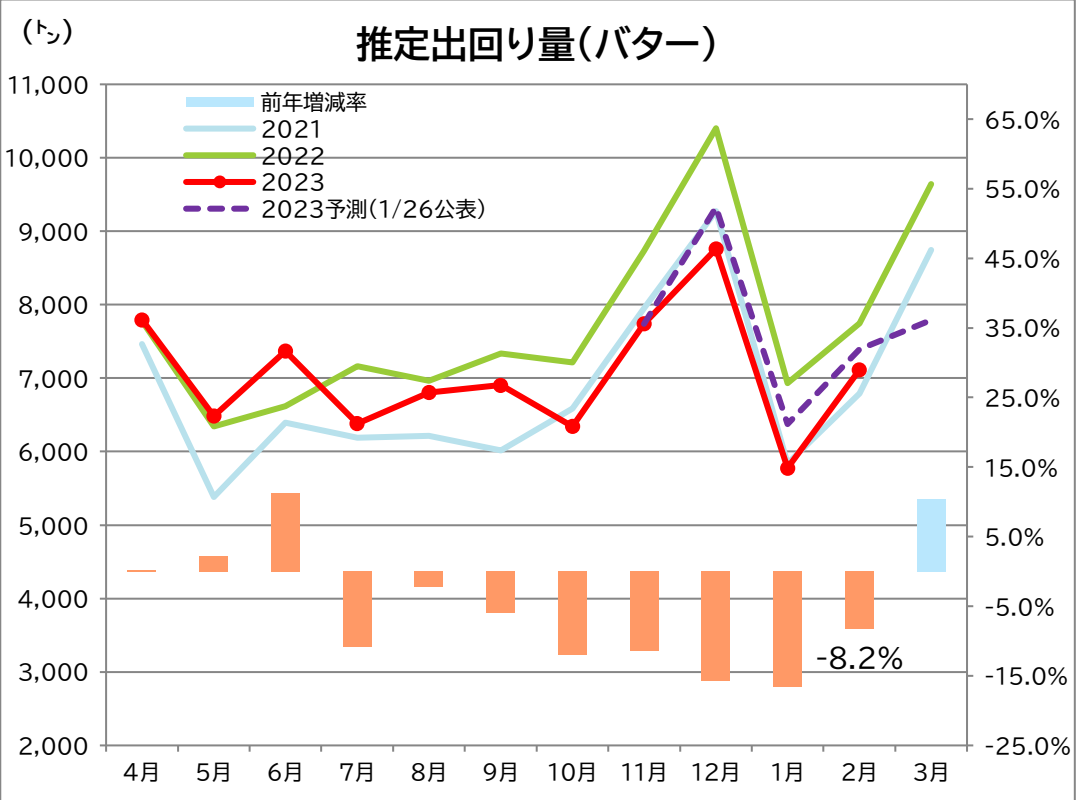
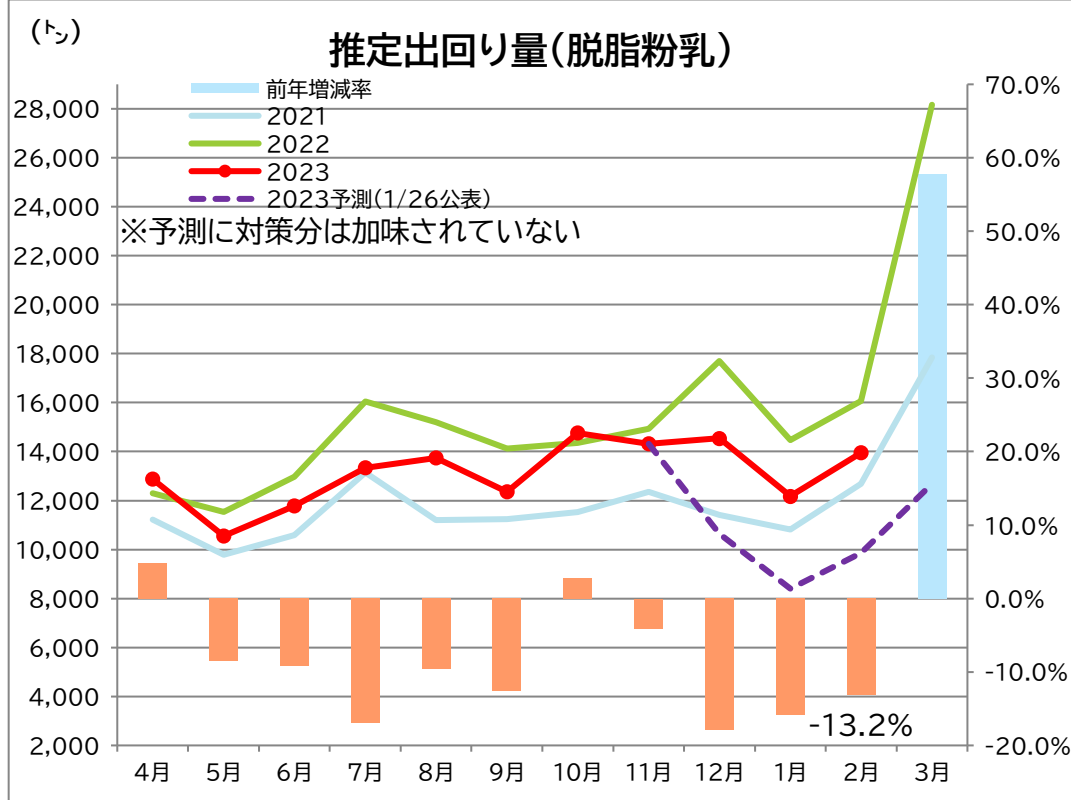
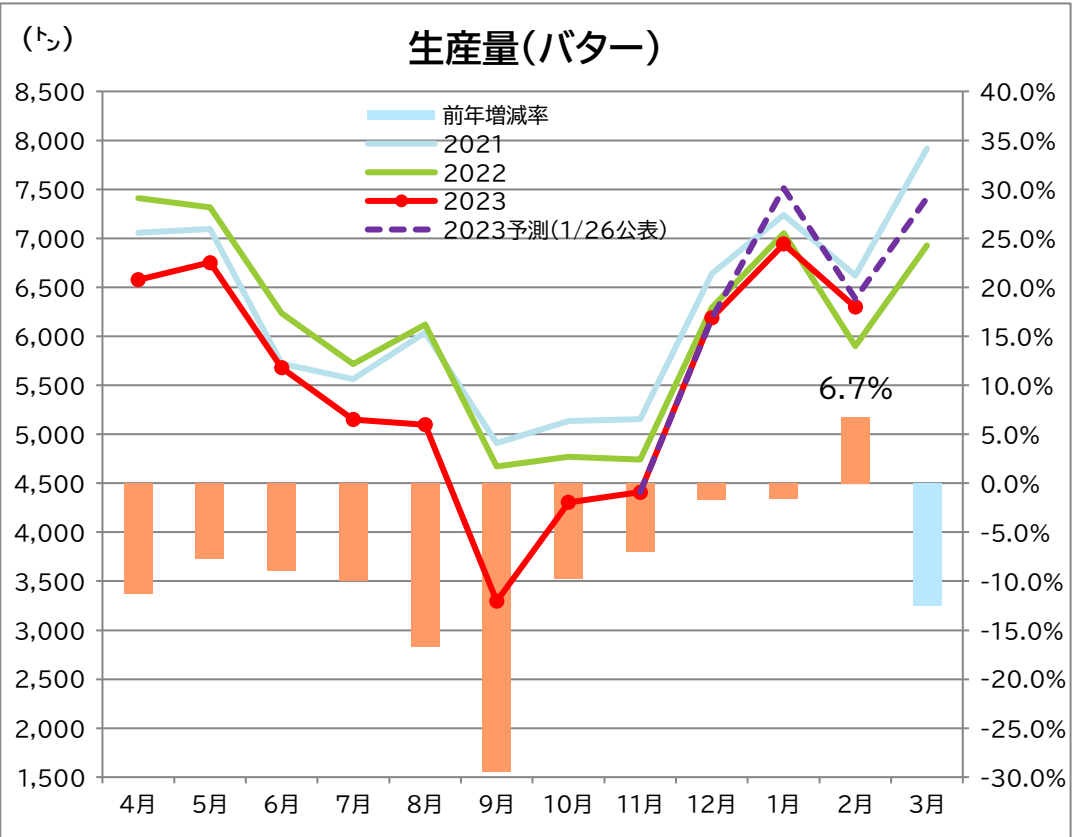
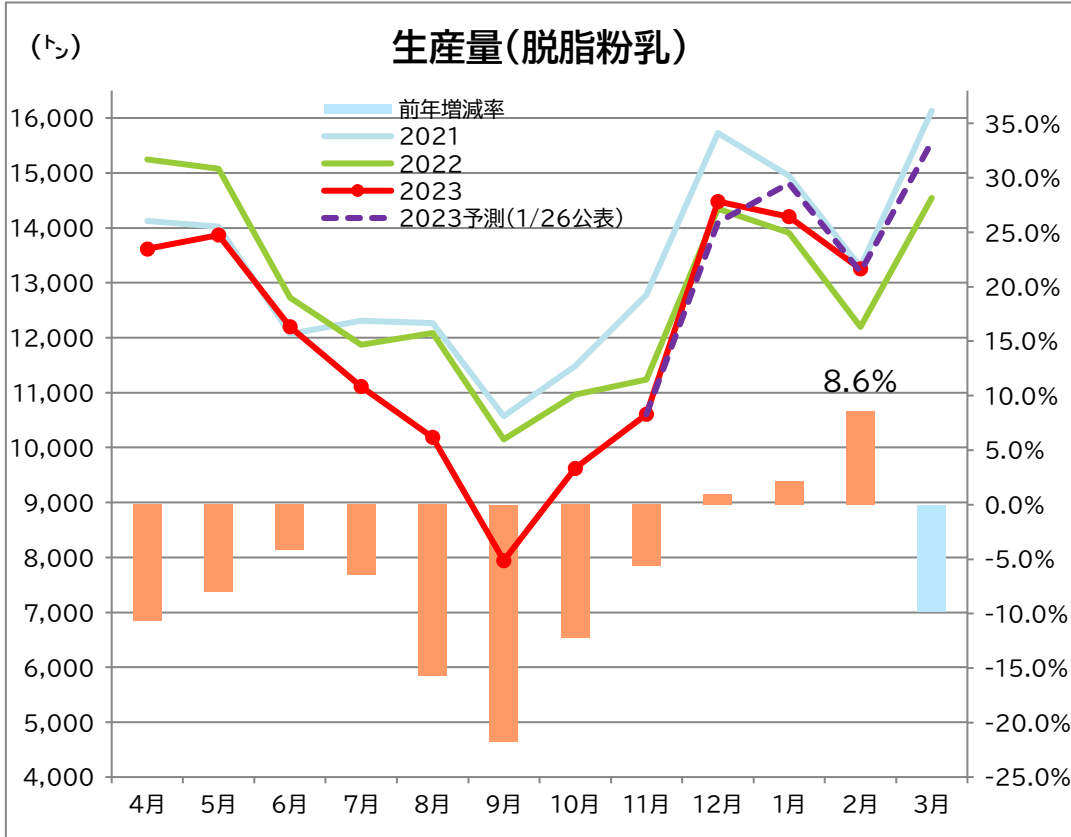
(1)2月は、生乳供給量256.5千㍓(前年同月比102.3%)、牛乳等向257.4千㍓(同101.3%)。
 (2)北海道からの移入量については33.6千㍓(同105.9%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:255.8千㍓)、牛乳等向(予測値:259.2千㍓)はいずれもほぼ同水準となったことから、北海道からの移入量(予測値:32.4千㍓)もほぼ同水準となった。



【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について、1月の生産量は13.3千ト(前年同月比108.6%)、推定出回り量は13.9千ト(同86.8%)となった。出回り量が生産量を若干上回ったため、在庫量は前月から0.6千ト程度減少し、51.8千ト(同66.4%)となった。在庫量は生産抑制の効果による脱バ仕向量の減少や在庫対策削減効果により、2023年9月には2018年11月以来、約5年振りに5万ト台となり、6カ月連続で維持している。 ※なお、推定出回り量の実績には在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。
 (2)バターについて、2月の生産量は6.3千ト(同106.7%)、推定出回り量は7.1千ト(同91.8%)となった。バターの生産量が前年同期比を上回るのは、2022年8月以来、約1年半ぶり。国家貿易による輸入売渡分(約1.4千ト(2月))を考慮すると生産量が出回り量を上回るため、在庫量は前月から0.5千ト程度増加し、23.2千ト(同75.7%)となった。在庫量は22カ月連続で前年を下回っている。

➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図るとともに、全国協調の在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限取り進める必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)3月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比98.1%、成分調整牛乳:同85.0%、加工乳:同99.5%、乳飲料:同99.1%。牛乳類全体:同97.4%

【参考】2022年3月比…牛乳:93.4%、成分調整牛乳:74.7%、加工乳:96.9%、乳飲料:100.2%(牛乳類トータル:93.0%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(4/1週)の販売個数は、牛乳:前年同期比97.4%、成分調整牛乳:同85.2%、加工乳:同107.2%、乳飲料:同101.2%。牛乳類トータルでは同97.3%

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

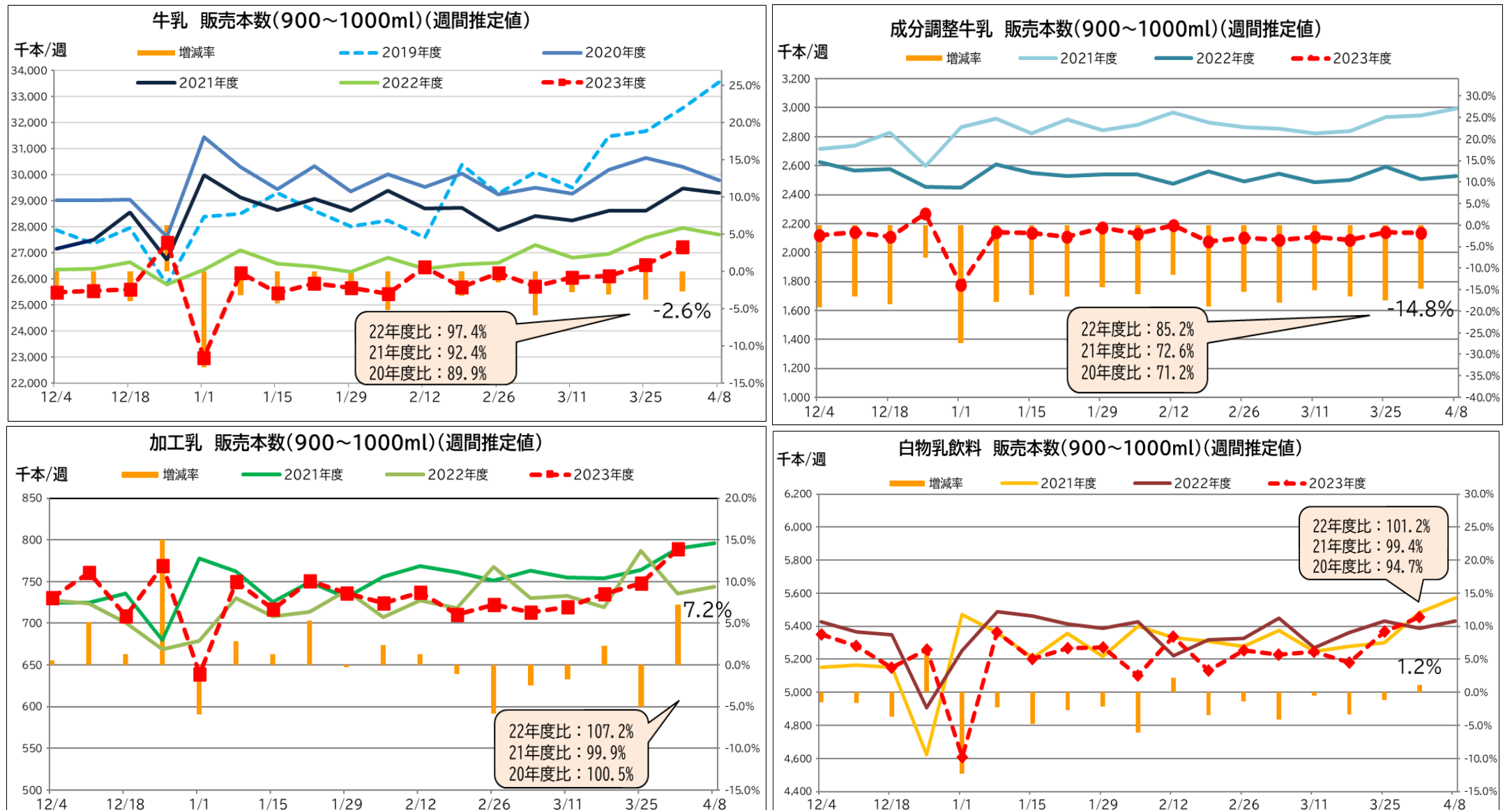
単位:千個、円

品目	区分	2023/10-	2023/11-	2023/12-	2024/1-	2024/2-	2024/3-	2024/3- 2022/10価格差	2024/3- 2023/3価格差	2024/3- 2023/7価格差
		販売個数	163,442	148,761	152,434	145,857	140,276	152,636		
トータル	販売個数前年比	95.8	96.0	96.1	95.7	99.8	97.4	33.1	18.0	16.2
	販売単価	216.6	216.7	216.9	217.0	216.6	216.2			
牛乳	販売個数	123,258	112,222	116,060	111,001	106,932	116,610			
	販売個数前年比	95.1	96.4	96.9	96.6	100.7	98.1	35.2	18.9	18.1
成分調整牛乳	販売個数	10,417	9,441	9,602	9,065	8,793	9,410			
	販売個数前年比	80.7	81.7	82.5	82.7	87.0	85.0	34.3	18.6	15.1
加工乳	販売個数	3,652	3,297	3,333	3,178	2,992	3,231			
	販売個数前年比	105.3	102.8	102.6	103.8	103.2	99.5	28.8	19.1	8.1
乳飲料	販売個数	26,115	23,801	23,439	22,613	21,559	23,385			
	販売個数前年比	106.0	100.2	97.6	96.7	101.1	99.1	24.2	13.6	9.9
	販売単価	173.5	173.6	174.3	173.5	173.7	173.7			

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	2.12-	2.19-	2.26-	3.4-	3.11-	3.18-	3.25-	4.1-	24.4.1- 22.10.24 価格差	24.4.1- 23.3.20 価格差	24.4.1- 23.7.24 価格差
		販売個数	34,726	33,618	34,322	33,751	34,148	34,132	34,807	35,615		
トータル	販売個数前年比	99.7	95.6	97.5	93.6	96.7	96.0	95.6	97.3	32.7	17.8	15.4
	販売単価	216.5	216.6	216.2	216.2	216.2	216.4	216.5	215.9			
牛乳	販売個数	26,461	25,698	26,243	25,724	26,073	26,131	26,551	27,236			
	販売個数前年比	100.3	96.8	98.5	94.1	97.2	96.9	96.2	97.4	34.7	18.4	17.2
成分調整牛乳	販売個数	2,190	2,076	2,104	2,086	2,111	2,086	2,139	2,137			
	販売個数前年比	88.4	81.1	84.5	82.0	84.9	83.4	82.6	85.2	33.9	19.0	14.4
加工乳	販売個数	737	710	722	713	720	735	748	789			
	販売個数前年比	101.3	98.9	94.1	97.6	98.2	102.3	94.9	107.2	25.2	14.9	4.3
乳飲料	販売個数	5,339	5,133	5,253	5,228	5,244	5,180	5,369	5,454			
	販売個数前年比	102.3	96.5	98.6	95.9	99.5	96.6	98.8	101.2	24.3	14.5	9.8
	販売単価	173.8	173.5	173.2	173.5	173.9	173.8	173.5	174.0			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(4/1週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上%、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。はっ酵乳全体としては、前年を下回る推移となっている。(3品目合計前年同期比:90%以上)。

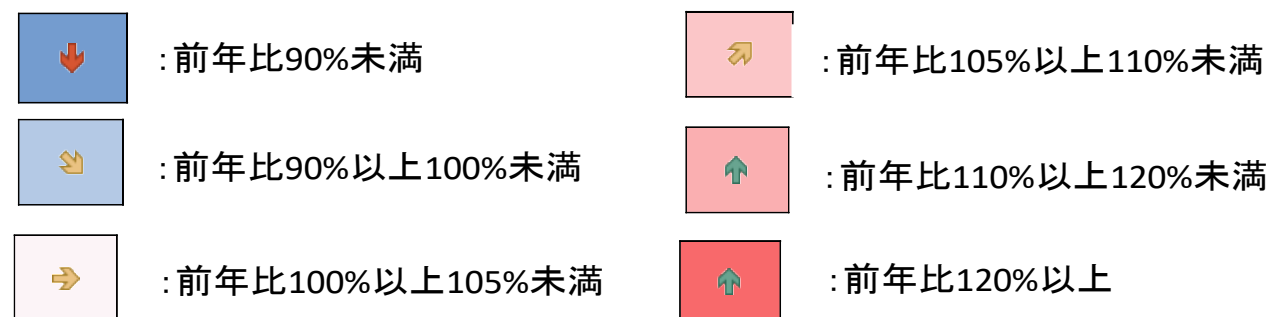
(2)販売個数について、前週(3/25週)と比較してドリンクタイプと個食タイプは減少、大容量タイプは増加した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

単位:千個

品目	2.12-	2.19-	2.26-	3.4-	3.11-	3.18-	3.25-	4.1-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	↘	↘	↘	→	↘	↘	→

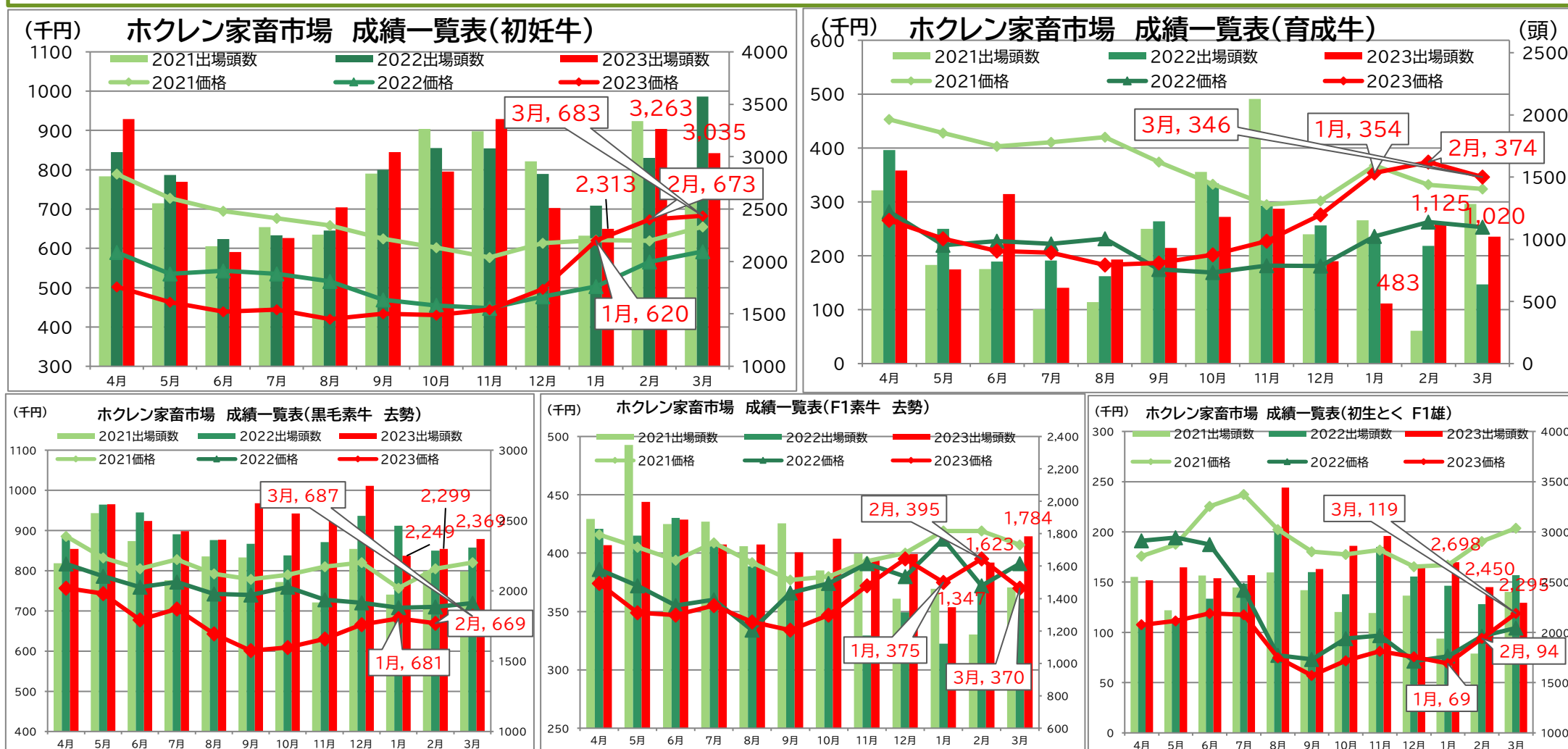


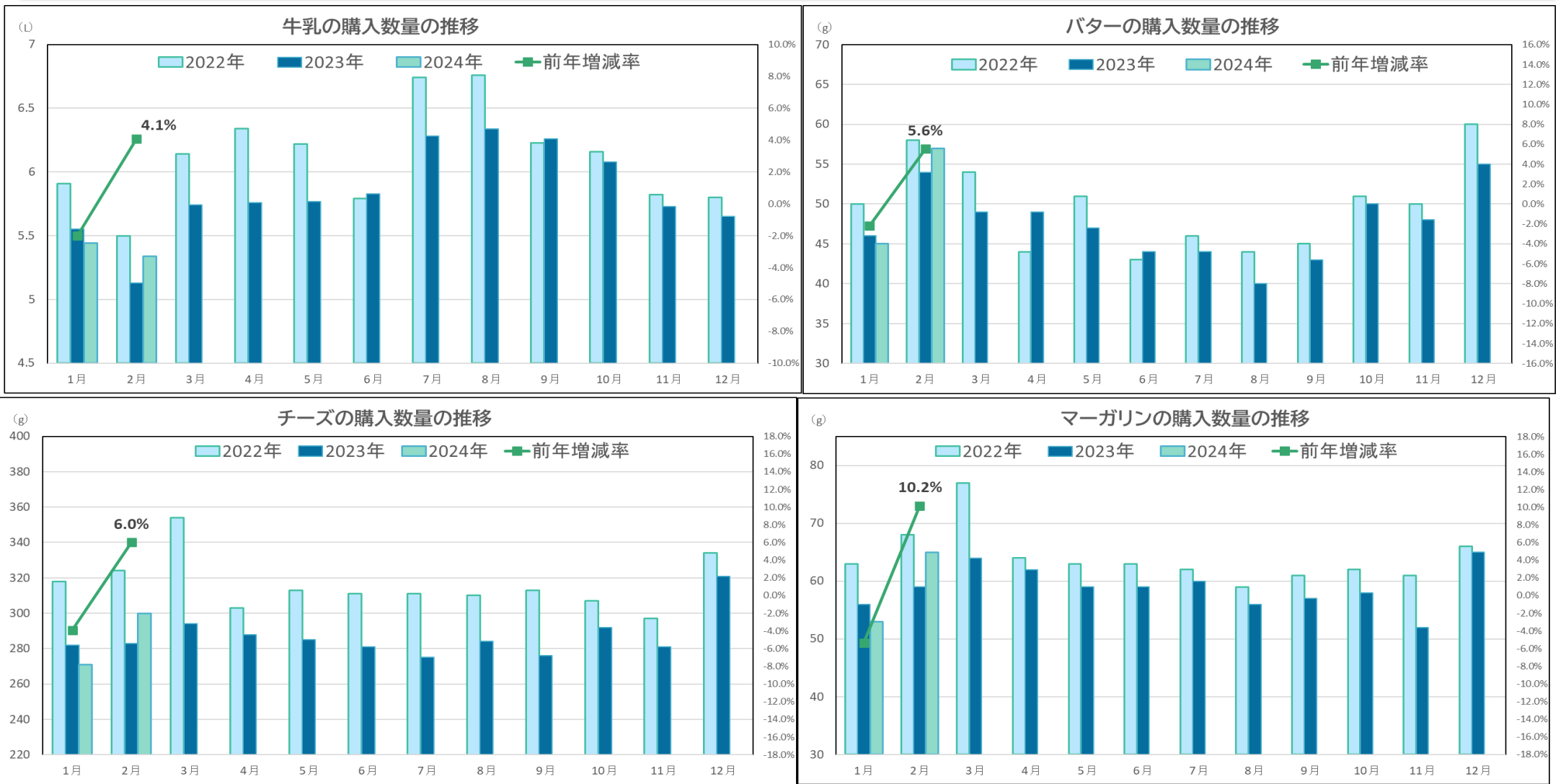
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)3月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は683千円(前年同期比115.4%)、育成牛価格は346千円(同136.8%)、和牛素牛(去勢)価格687千円(同95.5%)、F1初生(雄)価格は119千円(同114.2%)、F1素牛(去勢)価格は370千円(同94.6%)。初妊牛は3カ月連続で60万円台となり、育成牛についても2カ月連続で30万円台となった。F1初生(雄)は7ヶ月ぶりに10万円を上回った。ホル初生(雄)価格は47千円(同102.3%)となった(グラフ無し)。

(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同84.9%、育成牛:同159.9%、F1初生(雄):同89.4%、和牛素牛(去勢):同102.6%、F1素牛(去勢):同127.4%。





【乳製品輸出価格の動向】

(1)直近の乳製品国際相場について(4月上旬)

- ・欧州:脱脂粉乳2,600ドル/ト、バター6,200ドル/ト中心
- ・オセアニア:脱脂粉乳2,500ドル/ト、バター6,400ドル/ト、チェダーチーズは4,200ドル/ト中心

※出典:米国農務省(USDA)

